

統合システム運用管理「JP1」が IBM クラウド「IBM Bluemix」環境で稼働することを検証

「JP1」でシステム本番環境と「IBM Bluemix」上のアプリケーション開発環境の一元管理を可能に

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、統合システム運用管理「JP1」の最新版である「JP1 Version 11」が、日本アイ・ビー・エム株式会社(以下、IBM)のオープン・クラウド・アーキテクチャを実装した PaaS*1「IBM Bluemix」の仮想サーバサービス環境*2で稼働することを検証しました。これにより、「JP1」でシステム本番環境と「IBM Bluemix」によるアプリケーション開発環境の一元管理を可能とします。今後も、「IBM Bluemix」のアプリケーション開発者が短期間で「JP1」を利用できる新たなサービスの提供に向け強化を進め、迅速かつ柔軟な IT 活用をめざします。

*1 Platform as a Service アプリケーションを実行するためのプラットフォームをインターネット経由で提供するクラウドサービス。ハードウェアリソース、フレームワークや開発環境などをセットで提供する。

*2 今回の検証では、2016年5月24日現在公開されている Bluemix の仮想サーバサービスβ版を利用。

近年、変化の激しいビジネス環境で新たなビジネス価値を創出するために IT を活用する動きが加速しているため、企業の IT システムは迅速性と柔軟性が求められています。特に先進的なユーザーでは業務アプリケーションの開発用にクラウドベンダーが提供するサービスフレームワークを利用し、短期間、低コストでシステム開発を行うニーズも高まっています。

このような背景をうけ、業務運用の自動化や稼働監視、IT 資産管理、セキュリティ管理など、IT システムの運用管理の効率化を統合的に支援するソフトウェア製品群である「JP1 Version 11」では、クラウド管理者やアプリケーション開発者向けに、「JP1」を利用するための REST API*3を提供するとともに、開発基盤として Docker コンテナ*4や CentOS*5に対応するなど、強化を進めています。

*3 Web アプリケーションインターフェースの一種。OS によらず HTTP 経由で連携が可能で、柔軟に変化する環境への適用が容易。

*4 仮想化のためのオープンソフトウェア。ホスト OS とゲスト OS の間で kernel を共有したコンテナと呼ばれる実行環境を提供。

*5 Red Hat Enterprise Linux と互換性のある無償の Linux ディストリビューション。

今回、「JP1」が「IBM Bluemix」環境で稼働することを検証したことにより、例えば、プライベートクラウドで本番稼働済みの業務と関連する新規業務を、「IBM Bluemix」上で開発する場合、プライベートクラウド環境と「IBM Bluemix」開発環境の双方に「JP1」を導入することで、本番環境と開発環境の運用管理を統合することが可能となります。これにより、開発や連携テストなどにおいて、既存システム環境や資産を利用しつつ運用をシームレスに管理でき、システム設計やオペレータの共有など、構築・運用コストの削減も可能となります。

日立は今後も、「JP1」と「IBM Bluemix」の連携を強化し、引き続きクラウド・アプリケーション開発者向けの機能を強化していきます。また、クラウドベンダー各社の IaaS*6環境だけでなく PaaS 環境との連携を強化していきます。

*6 Infrastructure as a Service 仮想化技術を利用してハードウェアリソース(サーバ/ストレージなど)の IT インフラをインターネット経由で利用者の要求に応じて提供するサービス。

■ 今回の検証について

「JP1」が稼働する企業内システム環境に対し、仮想ネットワークを介して「IBM Bluemix」上の仮想サーバサービスによるCentOS環境を新規に作成し、「JP1」を導入、「JP1」のシステム管理対象の一部に「IBM Bluemix」を追加する検証を実施しました。本検証により、「IBM Bluemix」によるアプリケーション開発環境を統合したシステム運用環境を短期間で構築でき、開発作業の自動化や障害発生時の原因特定など、これまでの「JP1」による運用管理を変えることなく、行えることを確認しています。

■ IBM Bluemixについて

IBM Bluemixは、オープン・スタンダードであるCloud Foundry上に構築されたオープンなPaaSです。Bluemixは140*7を超えるサービスやAPIを提供し、アプリケーションの作成およびデプロイや管理を容易にし、短期間で高度なアプリケーションの開発と稼働を実現します。

詳しくは<http://www.ibm.com/cloud-computing/jp/ja/bluemix/>をご覧ください。

*7: 2016年5月24日時点。

■ 統合システム運用管理「JP1 Version 11」について

<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

■ 他社商標注記

- ・ IBM、Bluemix、IBM ロゴ、ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。
- ・ Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせフォーム

<http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上